



歓声 力に高鳴る鼓動



力強いパチさばきで観客を魅了

輝くねむろ

We Love Nemuro!

8月を迎えると、各祭典区の練習場から笛や太鼓の音色が街中に響き渡り、ねむろびとの心をはやし立てます。

海上の安全と漁業、産業の振興を祈願する「金刀比羅神社例大祭」が今年も盛大に繰り広げられ、雨の影響により神輿巡幸の順路が短縮となりましたが、今年から緑町に常設された御旅所に約120人の担ぎ手によって神輿が無事奉納されました。

最終日は天候も回復し、多くの観客が沿道に詰めかける中、神社へと向かう神輿の後ろを威勢の良い先太鼓の音色が鳴り響きます。「観客の歓

声」が直に私たちに伝わってくるのがうれしい。」と話し、ひととき力強い音色を響かせていたのは、今年で7年目の参加となる福澤瑠里さん。

「雨の影響で叩く機会は少なかったですが、練習の成果を発揮できるように気合いを入れて叩きました。」と、今年の出来に満足そうな表情を浮かべる福澤さん。「祭りに参加しないと夏は終われない。また来年に向けて頑張りたいです。」と話す横顔から祭りへの強い思いが感じられます。根室を代表する祭りは、今も福澤さんのような若い世代が支えています。

profile 福澤 瑠里 さん

西部祭典区 先太鼓叩き手

1996年根室市生まれ。根室高校1年生。部活動は女子バレエ部に所属。友人の誘いで小学4年生から先太鼓のジュニアチーム「小若連」に参加。今年から念願の先太鼓の本隊のメンバーとしてデビュー。趣味は音楽鑑賞。

図書館からの おくりもの

司書補 中村 英博
図書館 TEL (23) 5974番



現役の子育てパパによる「おはなし会」

子どもは「お父さんの読み聞かせが大好きです」

最近、育児に積極的にかかわるお父さんが増えてきているからでしょうか。「おはなし会」や「こどものつどい」に、お父さんと一緒に参加する親子が少しずつ増えています。こうした育児に積極的にかかわるお父さんのことを「イクメン」と呼び、それに関する本も数多く出版されています。しかし、仕事などで忙しいお父さんは、育児に参加するといっても大変なこともかもしれません。

そこで、一つの方法として「絵本の読み聞かせ」をおすすめします。夜寝る前の少しの時間などに、父さんの声で絵本を読んでもらうことは、お子さんにとって楽しい安らぎのある幸せなひとときになります。お父さんが絵本を読むことは、特別なことではなく、お子さんとのコミュニケーションの一つです。子どもたちは読み聞かせにより想像力が養われていき、大人になっていくうえで、とても大切なものになっていきます。また、楽しい共有体験は、親子関係にもとても良い働きをし、絆を深めてくれます。現役の子育てパパは、ぜひお子さんに絵本や物語を読んであげてください。効果は絶大です！

絵本を手にする方法もいろいろありますが、まずは図書館に足を運んでみてください。日本の昔話、外国の寓話や童話、創作絵本などさまざまな種類の本が数多くあります。「この絵本を読んであげたらどんな反応をするのかな。」と想像しながら選ぶのもいいかもしれません。お父さんの声だからこそ、伝えられるものが必ずあります！